

STOP! THE YANBA DAM



CONTENTS

- ◆ 水問題は「ハツ場ダム」で終わらない!
…………… 武笠紀子
- ◆ 第17回総会について
- ◆ ハツ場ダムは役に立ったのか?
…………… 大野博美
- ◆ 石木ダムの強制収容を許さない!!
東京行動に参加して …… 伊藤とし子
- ◆ 編集後記「渡良瀬遊水地を視察して」
…………… 松島こずえ
編集：猪俣悦子

vol. 31



ハツ場ダムをストップさせる千葉の会

代 表：武笠紀子・中村春子
住 所：〒285-0825 千葉県佐倉市江原台 2-5-29
TEL : 090-9365-9608 (武笠)
ウェブ：<http://yanbachiba.blog102.fc2.com/>
2020年4月1日発行

水問題は「ハツ場ダム」 で終わらない!

昨年の台風では、千葉県でも中小河川の氾濫で洪水被害がありました。遅ればせながら、被害を受けられた皆さまにはお見舞い申し上げます。

その節に広がった「ハツ場ダムが水を溜めて、利根川流域が守られた」との話は、全くのフェイクニュースです。試験湛水を始めたばかりのハツ場ダムはほぼカラっぽだったのに、一度の台風で満杯になったのです。もともと、吾妻渓谷の構造は、狭い谷で水嵩が上がって水流を止め、時間をかけて下っていたのです。規定通りにダムに水が溜められていたら「緊急放流」とも言われています。

ダムでは洪水を防げないことが分かってきましたが、水は足りないとして、千葉県はまだ霞ヶ浦導水と南摩ダム事業に参加しています。水道事業の広域化・民営化もこれからの課題です。ハツ場ダム事業と共に、千葉県の水事業も監視していくための会の名称変更については、総会で決めたいと思います。ご意見をおよせください。

(武笠紀子)

第17回総会について

第17回総会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、中止としました。よって、別紙、書面での議決となります。

●会費納入のお願い

(一口 1000円/年)

会費振込先：00120-5-426489

*会計年度は1月から12月末まで



ハッ場ダムは本当に

台風19号とハッ場ダム

2019年10月12日、台風19号は関東から東北にかけて記録的な大雨を降らせ、長野県の千曲川をはじめ、7つの県で71河川140か所の堤防が決壊し、100名もの犠牲者を出しました。幸いに利根川は決壊しなかったのですが、直後からインターネット上には「利根川が決壊しなかったのはハッ場ダムのおかげ。ヤンバ、good job!」という声が溢れたのです。

これは本当でしょうか？調べてみると、見当違いのフェイクニュースだと言うことが分かってきました。

空っぽだったから助かった！

ハッ場ダムの総貯水量は1億750万 m^3 。内訳は①洪水調節6500万 m^3 、②利水用2500万 m^3 、③底に溜まる堆砂1750万 m^3 。

ハッ場ダムは昨年9月末に完成し、10月1日から徐々に試験湛水を始めたばかり。ほとんど空っぽ状態でした。そこへ台風19号の豪雨。2日間で一気に満水になりました。つまり、②と③がゼロ状態だったから、容量全部を洪水調節に使えたのです。

通常時は、洪水調節の容量は6500万 m^3 しかありません。台風19号では、ハッ場ダム周辺の降雨量は7500万 m^3 とされているので、1000万 m^3 もの水が溢れてしまいます。

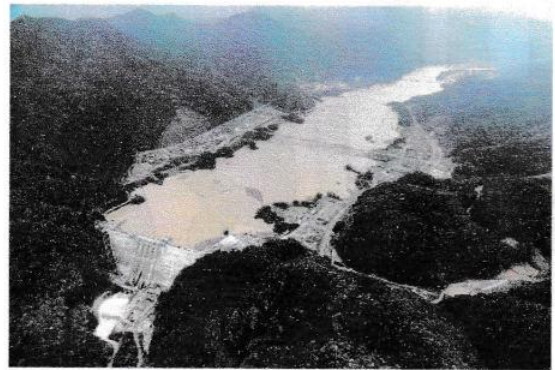
こういう場合、ダムは決壊を防ぐために「緊急放流」を行います。



緊急放流は一気に水を流すので、下流域にとっては危険極まりない事態になります。

今回も6つのダムで緊急放流が行われましたが、神奈川県城山ダムでは、緊急放流の開始時刻が何度も変更され、下流の住民に大混乱を招きました。

2018年の西日本豪雨では、愛媛県の肱川で2つのダムを緊急放流した結果、下流域で氾濫が起き、8人もの犠牲者が出ました。ハッ場ダムはたまたま空っぽだったので、緊急放流を免れたのです。運が良かったとしか言えません。



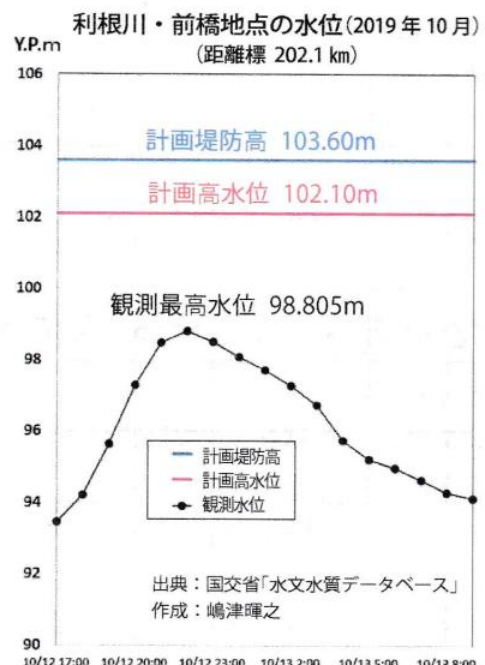
2019年10月16日のハッ場ダム
(朝日デジタルより)

ダムの効果は限定的

ダムの洪水防止効果は、周辺地域では確かに顕著ですが、下流に行くほど薄れていきます。

群馬県前橋市は、ハッ場ダムが建設された吾妻川と利根川の合流点に一番近い市街地で、利根川流域で最もハッ場ダムの恩恵を受けるはずの街です。

しかし、下図をご覧ください。10月12日、利根川の水位は最高98.805mまで上がりましたが、堤防の高さは103.60mあり、14mも余裕があります。実はこの堤防、人工物ではなく利根川両岸にできた自然の崖。だから、ハッ場ダムがあってもなくても、洪水は起きなかったというわけです。



役に立ったのか？

大野 博美

森田知事の珍答弁

やっしま

では、前橋市の下流20kmにある八斗島基準点ではどうだったのでしょうか？ これについては、12月の千葉県議会で自民党県議が質問しました。

質問 台風19号のときの、八ッ場ダムの効果はどうだったのか？

知事 八ッ場ダムを含む利根川上流ダム群で、群馬県八斗島地先で約1m水位を下げる事ができた。

これを聞いた議員たちは一斉に「ほー！」と感嘆のため息をもらしたそうです。しかし、これはインチキ答弁です。八ッ場ダムの効果を聞かれているのに、知事は「合計7つのダム群」の効果を答えています。

しかも、国交省は、「一つ一つのダムの効果は計算できない」としています。計算できないのなら、1mという数字は出てこないはず。きりの良い1mという数字でお茶を濁したとしか思えません。

実は、国交省の出した流量データを基に嶋津暉之さんが計算したところ、八ッ場ダムの効果は中流の栗橋地点でわずか17cm。千葉県のある下流ではほとんど効果なし、という結果が出ています。

本当に役に立ったのは？

栗橋の少し上流で利根川に合流するのが渡良瀬川です。そこに、田中正造ゆかりの「渡良瀬遊水地」があります。谷中村の悲劇で有名ですが、今では生態系を守るラムサール条約にも登録され、住民の憩いの場になっています。

この広大な遊水地は台風19号のとき、1億6000万㎡（東京ドーム約130杯）の雨水を貯水しました。

もし渡良瀬遊水地が無かったなら、利根川下流で洪水が起きた可能性があると言っています。



↑ふだんの渡良瀬遊水地

→台風19号で満水となりました。

渡良瀬遊水地の洪水貯留状況 (国土交通省)



R1.10.13上空から撮影

台風19号では、ラグビーワールドカップが開かれた横浜市の日産スタジアムも、遊水池として鶴見川の水を大量に受け入れました。

これらの例から環境省は、各流域の川沿いにある湿原や湖沼が溜められる水量の推計調査に乗り出しました。それだけでなく、現在は宅地開発や治水工事で埋め立てられた溜池や、大雨時に湖と化す低地なども調査して、元の状態に戻した場合の水量を想定するそうです。

このような調査は、市町村が進めているハザードマップ作成に非常に役に立ちます。「水が出やすい土地」というのが一目で分かるマップは、住民にとって、日ごろからの心構えを養い、犠牲を少なくします。



台風19号で賛否両論の大議論を巻き起こした八ッ場ダム。この議論を通じて、私たちが日ごろから主張する「ダムに頼らない治水」が正しいと実感しています。とうとう4月から運用が始まりましたが、私たちは引き続き八ッ場ダムを監視し、問題点を炙り出し、本当の「防災」とは何かを訴え続けていきます。



2019年11月12日、「八ッ場あしたの会」の渡辺さん、角倉群馬県議と八ッ場ダムを視察。



2020年2月11日、30人ほどで渡良瀬遊水地を視察見学しました。

石木ダムの強制収容を許さない!! 東京行動に参加して

伊藤とし子（市民ネットワーク千葉県共同代表／千葉県議会議員）

2月13日衆議院会館で開催された公共事業チェック議員の会（代表 大河原まさ子衆議院議員）主催の国交省・厚労省交渉に参加しました。前滋賀県知事の嘉田由紀子参議院議員からは滋賀県流域治水条例について、嶋津暉之さんからは石木ダムの問題点が解説され、不要な石木ダムの問題が浮き彫りになりました。



院内集会で



石木ダム予定地

● 待ったなし 強制収容

長崎県石木ダム計画が浮上してから半世紀以上も経っています。その間、住民の反対運動を受け、本体工事に着手できなかった長崎県と佐世保市。2013年に国の事業認定が下り、長崎県土地収用委員会は地権者に対し土地の強制収容を決定。川原（こうばる）地区13世帯50人の住民の田畑は2019年9月までに、土地家屋は11月までに明け渡すよう言い渡されました。11月には福岡高裁で「事業認定取り消し訴訟」が棄却され、現在原告は最高裁に上告中です。

ところが現地ではすでに付け替え道路の工事が始まっており、長崎県の2020年度当初予算に基礎掘削工事費ほか8億円の着工費用が計上されました。住民の座り込みも800日を超え、事態は緊迫しています。

● 石木ダムはいらない

石木ダム建設の目的は、佐世保市への水供給と川棚町の洪水被害防止が目的とされています。しかし、現在の佐世保市は人口減少で水不足の心配はな

く、「川棚川は現在の状態のままでも、100年に一度の大雨が降っても溢れることはない」と専門家も指摘しています。

そもそも、石木ダムは川棚川の全流域面積のわずか8.8%にしか対応していません。最下流域は河川ではなく港湾管理区域のため、堤防の整備計画もありません。川棚川下流部の市街地は低地が多いため、内水氾濫の可能性のほうが大きいのです。

● 石木ダムを中止させよう

現在、全国で必要性のないダムになぜ強制収容という人権侵害が行われるのかと、抗議の声が広がっています。国会議員・地方議員も議員連盟を作り（1月20日現在107人）、昨年12月24日、国交省への要望書提出に続き、2月13日の院内集会被開催されました。

ダムありきで問答無用に住民を追い込む長崎県。こんなことが許されていいのでしょうか。4月16日～18日有志6人で現地見学と座り込みに参加してきました。川原地区の人々を孤立させないよう、支援の声を千葉からあげ、石木ダム中止をめざしましょう。

編集後記

● 渡良瀬遊水地を視察して

2月11日に渡良瀬遊水地の見学会に行ってきました。渡良瀬遊水地は、4県にまたがる日本で最大の遊水地です。過去には足尾鋳毒事件、谷中村廃村と悲しい歴史があり、現在の姿があります。普段は湿地や草原が広がっており、多様な動植物の生息地となっています。広大なヨシ原、そして3月に行われる保全のためのヨシ焼きが有名です。大雨のときは、渡良瀬川からあふれた水をた

め、下流に流れる量を調節し、洪水から守る大切な役割を果たしています。

「囲ぎよう堤」と「越流堤」について、「渡良瀬遊水地を守る利根川流域住民協議会」メンバーに説明していただき、見学しました。クライマックスで、野田市が放鳥したコウノトリひかるくんが飛来。一同カメラを手に盛り上がりました。（松島こすえ）